

代表質問

令和8年2月20日の各党(会)派代表による代表質問では、次の議員が質問を行いました。各議員の質疑の中からピックアップし、その要旨を掲載します。

CHECK! 白熱議論を映像でご覧ください!

下の各議員の横にある二次元コードから、掲載の質疑及び一般質問の映像を見ることができます

2月20日(金) 自由民主党 (130分)



金井 康夫 自由民主党
(沼田市)



▶看護職・介護職の確保対策について

Q 県内の看護職・介護職の状況と、賃金及び今後の人材確保に向けた取組について伺いたい。



A 健康福祉部長

将来を見据え、看護職・介護職の処遇改善と安定的な確保は大変重要な課題である。そこで、看護職確保のため、看護師等養成所への支援として施設運営費の加算新設や、県内の看護系大学生を対象に県内就職を要件に5年間で最大180万円の奨学金返還支援制度を新たに導入する。介護職については、総合的な人材確保対策や生産性向上等に加え、ケアマネジャーを含む介護従事者への賃上げ支援を実施していく。

▶群馬県における企業誘致の戦略について

Q 県内への投資を促進する新たな取組が必要と考えるが、知事の考えを伺いたい。

A 知事

群馬県の立地優位性などの強みを生かしつつ、成長分野の投資を呼び込む新たな補助制度、ぐんま未来投資促進補助と本社機能移転促進補助を創設、令和8年4月の運用開始を目指している。補助制度は、企業の初期投資と立地後の継続的な支援、雇用創出を後押しするものである。若者や女性に魅力ある産業の集積により、県経済の持続的発展と地域の魅力向上につながるよう、企業誘致に取り組みたい。



大和 勲 自由民主党
(伊勢崎市)



▶物価高に対応する価格転嫁や生産性向上の取組について

Q 物価高に対応する価格転嫁や生産性向上の取組について伺いたい。

A 産業経済部長

原材料や人件費の高騰が続く中、県内企業の成長には適正な価格転嫁と生産性向上が重要と認識している。県は、共同宣言やセミナーを通じて価格交渉力と取引適正化を促し、DX補助金により技術導入や業務効率化を支援してきたところである。来年度は、ハンズオン支援^(※1)の実施や補助金拡充、賃上げ支援を継続し、企業の収益力向上と県内経済の好循環の実現を図っていく考えである。

つる舞う (47分)



栗野 好映 つる舞う
(安中市)



▶蚕糸業振興について

Q 蚕糸業の維持・振興のため、碓氷製糸の経営安定と原料繭確保に向けた養蚕農家への支援が重要と考えるが、県の対策を伺いたい。

A 農政部長

碓氷製糸の経営維持のため、原価割れしている生糸の製造コストを補填するとともに、国産生糸を使用したシルク製品を製造する県内中小企業の取組を支援し、生糸の需要拡大と付加価値の向上を図ってまいりたい。また、養蚕に係る新規参入者の確保・育成に取り組むとともに、養蚕農家の経営安定のため繭代を補助し、碓氷製糸の原料繭確保を支援する。

リベラル群馬 (43分)



本郷 高明 リベラル群馬
(前橋市)



▶ぐんまちゃんのブランド化について

Q 県内経済や県民生活にどのような効果があったと評価し、費用対効果の観点から施策を継続することの是非について認識を伺いたい。

A 知事戦略部長

イベント実施やプロモーションなどの取組が、20~49歳の女性認知度71.4%、関連商品売上624億円などの成果に表れている。今年度は観光誘客や地域活性化につながる取組も強化している。群馬県のキラコンテンツであるぐんまちゃんの価値の最大化を図ることは、地域ブランドの創出に大きく貢献するものと考え、今後も県民がメリットを感じられるような取組を進めていきたい。

公明党 (40分)



清水 大樹 公明党
(高崎市)



▶難聴児補聴器購入等支援事業の拡充について

Q 難聴児補聴器購入等支援事業の拡充が必要であると考えますが、令和8年度の事業内容を伺いたい。

A 生活こども部長

令和8年度から、骨導式の補聴器について、シールで貼り付けるもの、軟骨部に振動を与えるものを選択できるようにした。また、話し手の声を専用のマイクから耳に装着した受信機へ送る補聴援助システムも対象に追加した。さらに、専門医が必要と判断した場合には、一側性難聴や高音急墜型難聴など、これまで助成対象にはならなかった児童も支援対象とすることができるよう事業を拡充した。

※1 ハンズオン支援…専門家が企業に深く関与し、実践的な指導を通じて経営課題の解決や成長をサポートする支援形態

活動紹介 特別委員会

約1年かけて検討・議論を重ねてきた4つの特別委員会から3月13日、知事及び教育長あてに提言を提出しました。

※全文はこちら▶



■ 防災・減災・治安に関する特別委員会

「防災・減災・治安に関する提言」として、防災・減災に関すること、治安対策に関すること(子どもの安全含む)、公共インフラの老朽化対策に関することなど、防災・減災と治安対策を一体的に強化した施策を推進するに当たって取り組むべき19項目について提言しました。

■ 「ヤード」対策等に関する特別委員会

「「ヤード」対策等に関する提言」として、「ヤード」対策に関すること、廃棄物処理に関すること、再生可能エネルギー・グリーンイノベーションに関することなど、「ヤード」対策等に関する施策の推進に当たって取り組むべき16項目について提言しました。

■ スポーツ・文化に関する特別委員会

「スポーツ・文化に関する提言」として、スポーツの推進に関すること(部活動の地域移行含む)、湯けむり国スポ・全スポぐんまに関すること、伝統文化の継承・支援に関すること、観光振興・情報発信に関すること、多文化共生に関することなど、本県におけるスポーツ・文化に関する施策を推進するに当たって取り組むべき27項目について提言しました。

■ 地域支援に関する特別委員会

「地域支援に関する提言」として、中小企業支援・物価高騰対策に関すること、公共交通・交通イノベーションに関すること、次世代産業(デジタル・クリエイティブ産業)の振興に関すること、公契約条例に関すること、米国関税対策に関することなど、県民・事業者の経済的不安解消と、新たな価値の創造を踏まえた「地域支援」に資する施策を推進するに当たって取り組むべき15項目について提言しました。



群馬交響楽団

フルオーケストラ議場演奏



群馬交響楽団による議場演奏

第1回定例会の恒例となっている、県議会の本会議場をステージにした群馬交響楽団の「議場演奏」が、開会日の2月16日に行われました。

今年はチャイコフスキー「歌劇《エフゲニー・オネーギン》からポロネーズ」や、グリーグ「2つの悲しい旋律から 第2番「過ぎにし春」」など4曲が演奏され、議員だけでなく、傍聴に訪れた約90人の皆さんも聴き入りました。

「議場演奏」は、昭和32年3月定例会において、初めて演奏されて以来、議事堂改築などの一部期間を除き毎年実施しています。